

### 3. 標高分布図

## 標高分布図

T.P.+0～4mを表示



01

02

03  
04  
05  
06  
07  
08  
09..  
10.

12  
13  
11

14  
16

15  
17  
18

19  
20  
21

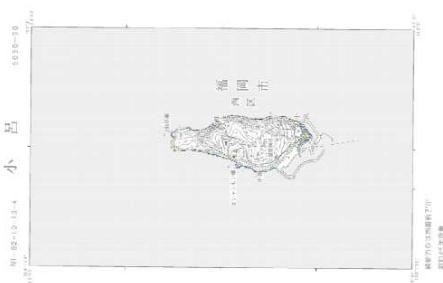
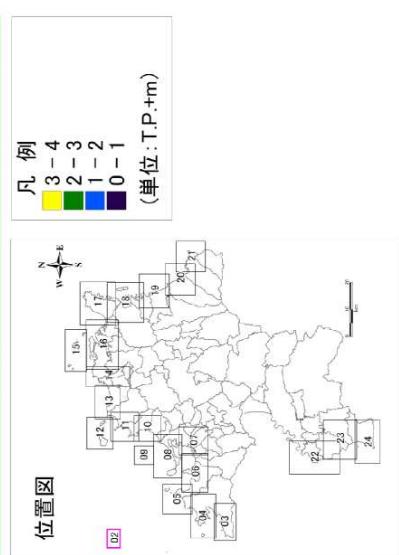
22  
23  
24

0 10 20  
km

## 標高分布図(付図02)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



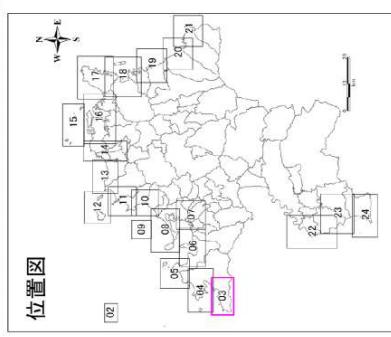
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもののです(承認番号 平24情2、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を経なければなりません。



## 標高分布図(付図03)

(T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に想定する想定したもののです。  
実際には、津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



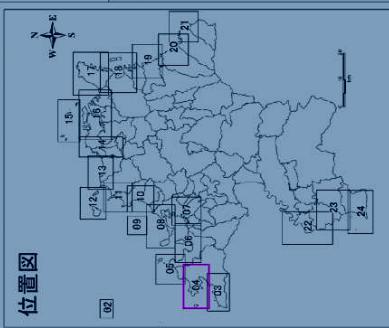
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 地図画像を複製したもので(承認番号 平24情報、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

## 標高分布図(付図04)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。実際には高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。

位置図



凡例  
(0 - 1)  
(1 - 2)  
(2 - 3)  
(3 - 4)  
(単位:T.P.+m)

0 1 2 km

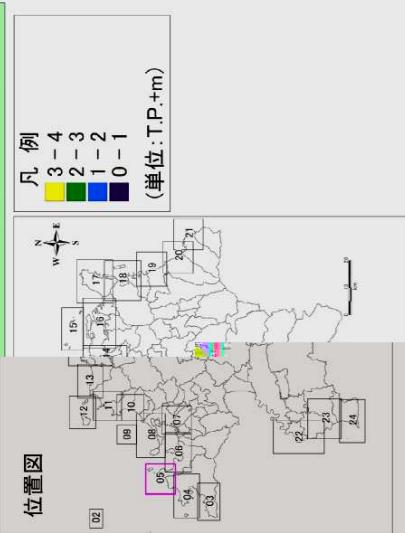
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもののです(承認番号 平24情接、第25号)。これをどうぞ複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の承認を得なければなりません。



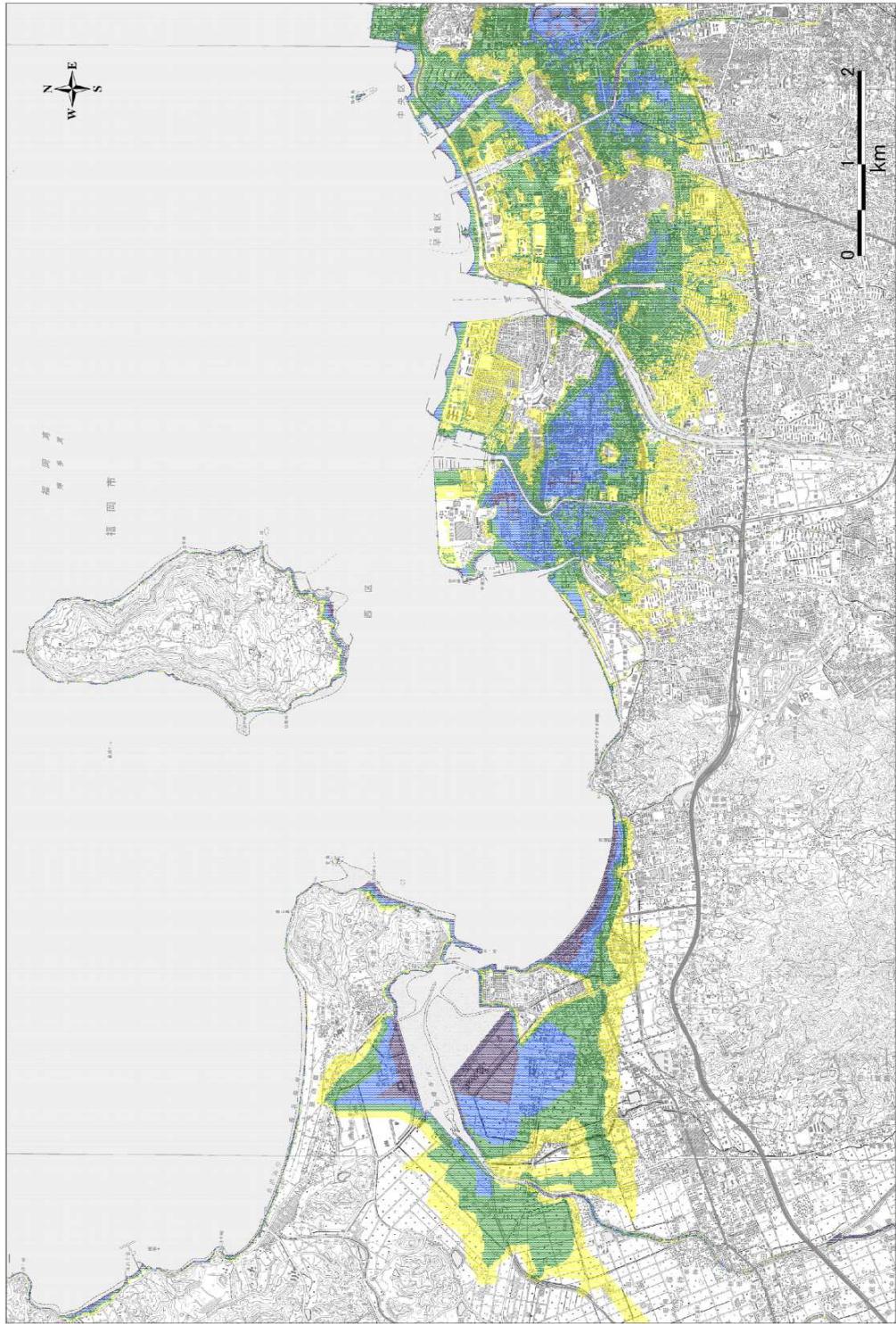
## 標高分布図(付図05)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高データ)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。**高潮**、**津波**が侵入した場合は標高分布図より  
実際には津波や高潮が侵入する可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもので(承認番号 平24情報 第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

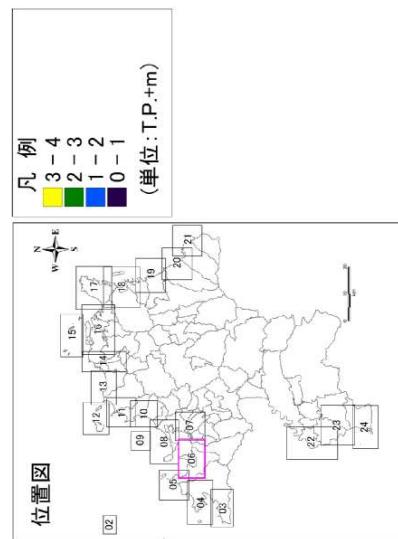


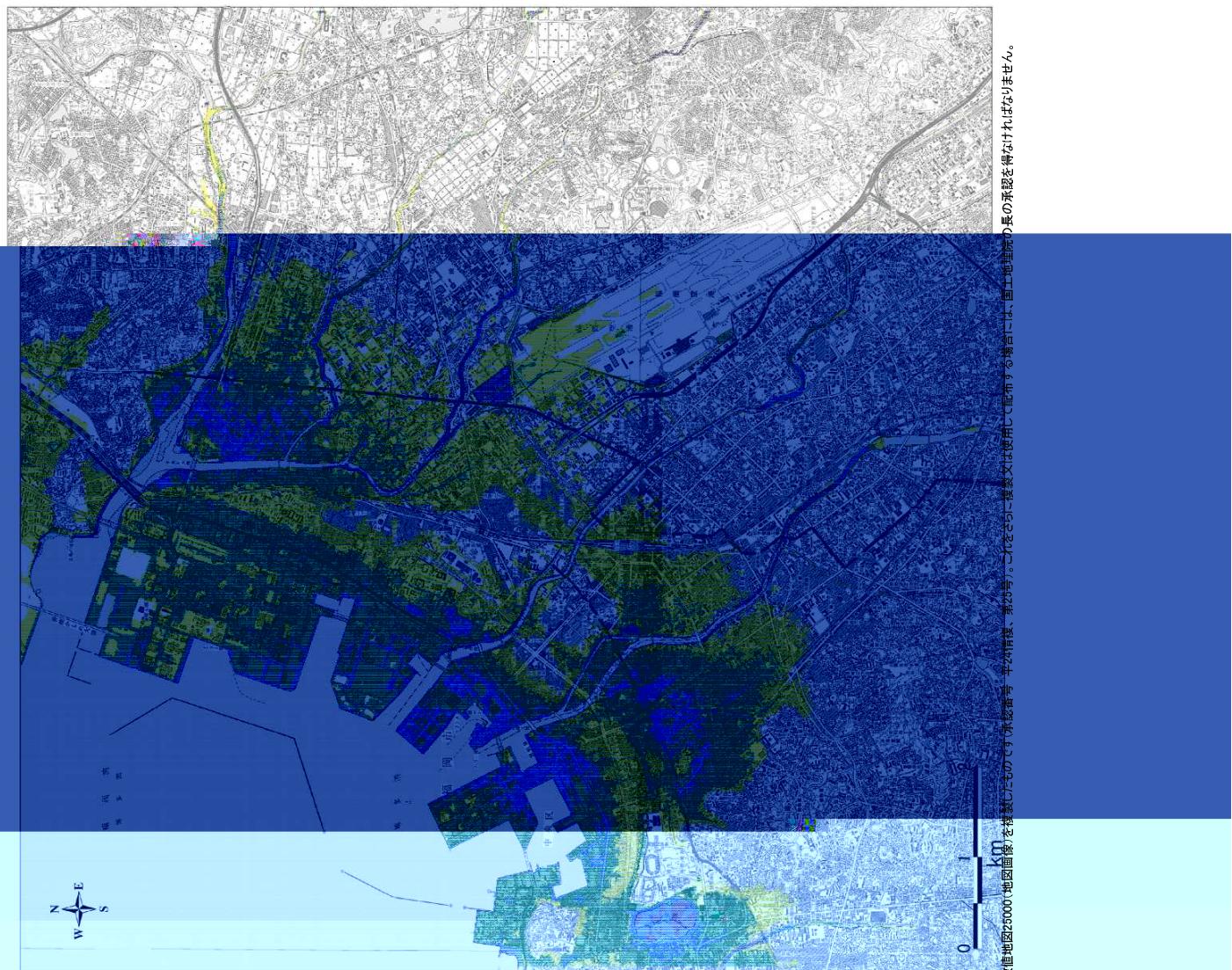
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値標高モデルを用いて、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示したもののです。実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より広い範囲で浸水が生じる可能性があります。

## 標高分布図(付図06)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基礎地図情報(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示したもののです。実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より広い範囲で浸水が生じる可能性があります。

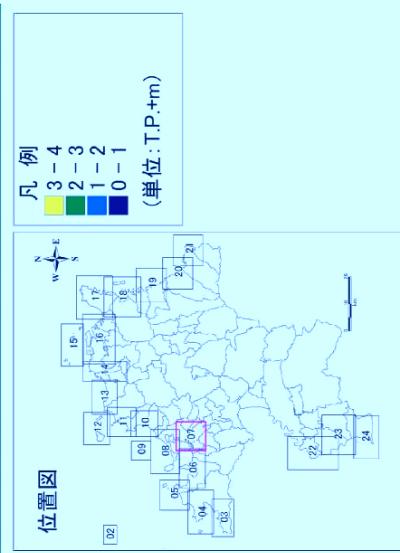




## 標高分布図(付図07)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報（数値標高モデル）を使用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ（浸水リスク）がある低地を示したもののです。実際に津波や高潮が最も高い範囲で浸水が生じる可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000分率地図を複数枚を接合したものです。原図面には、国土地圖院の長の承認を得なければなりません。

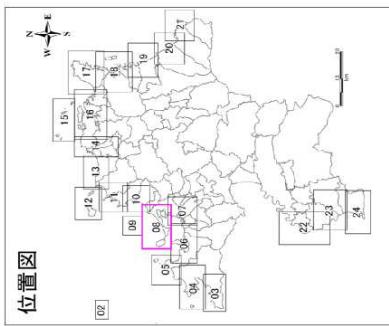
## 標高分布図(付図08)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。  
実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



位置図



凡例  
3 - 4  
2 - 3  
1 - 2  
0 - 1  
(単位:T.P.+m)

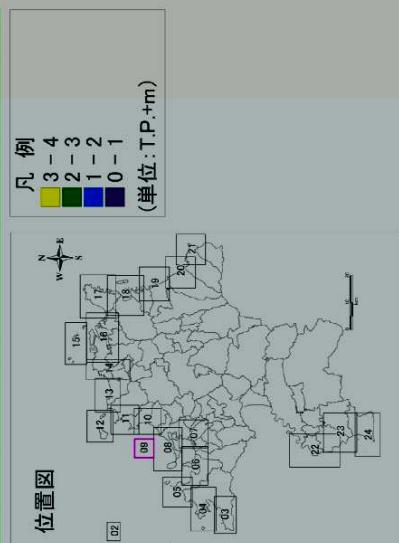
0 1 2 km

この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもので(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

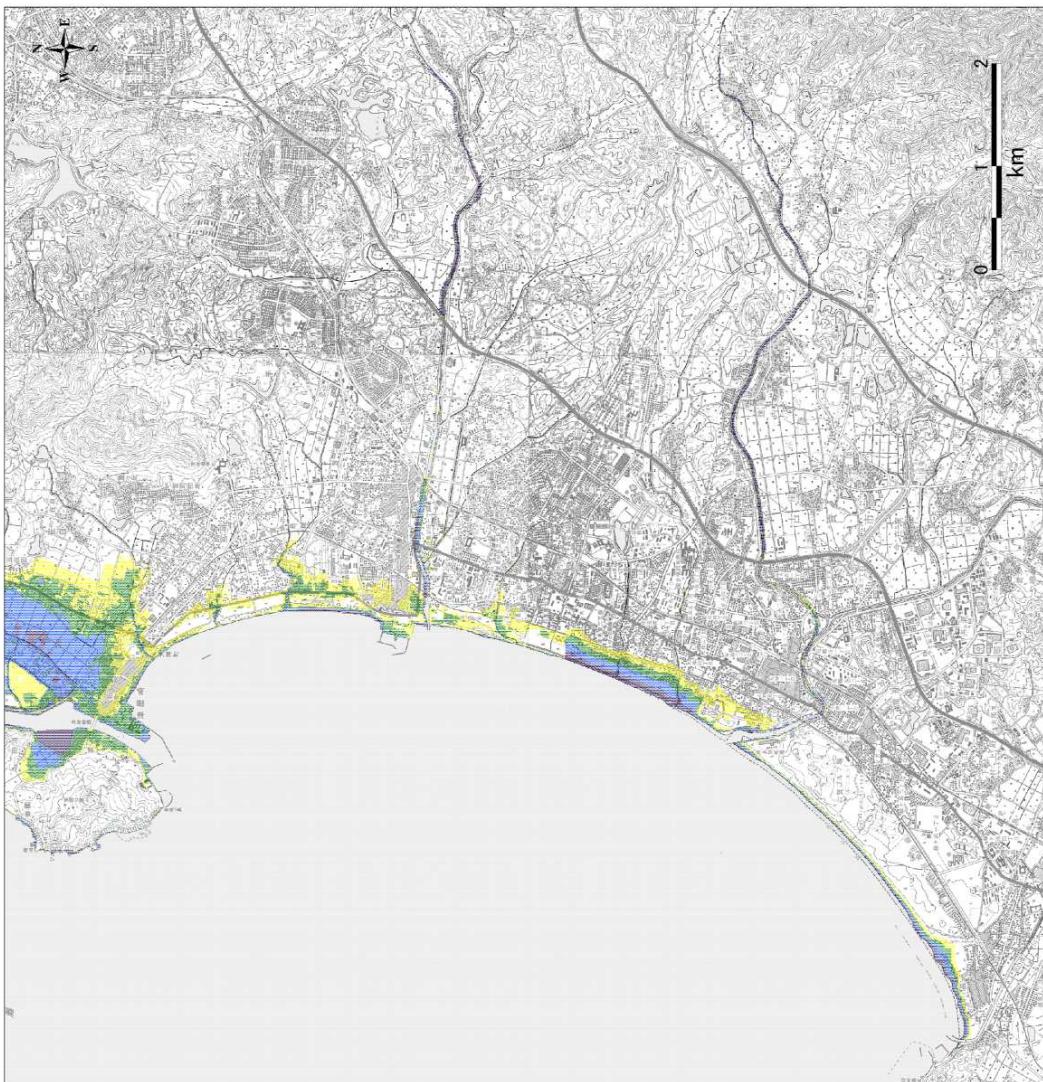
## 標高分布図(付図09)

(T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基礎地図情報に使用して、津波や高潮が低地内に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示すものです。図示する際は、海岸線や堤防等で海水が押し入った場合を想定しておられます。



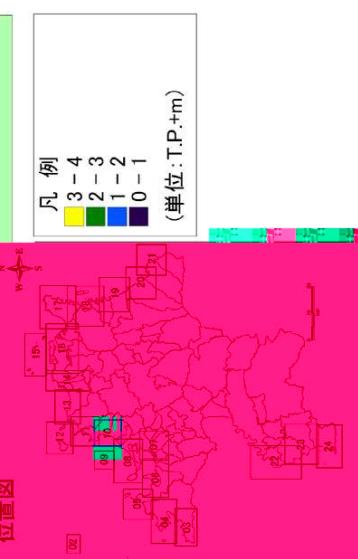
この地区は主に土地開発事業の本拠地を構成する。



## (付図10)

(表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報(数値標高モデル)を使用して、津波浸入した場合に海水が侵入する恐れ(浸入した場合に津波や高潮が侵入した場合に津水が生じる可能性)を示すものであります。



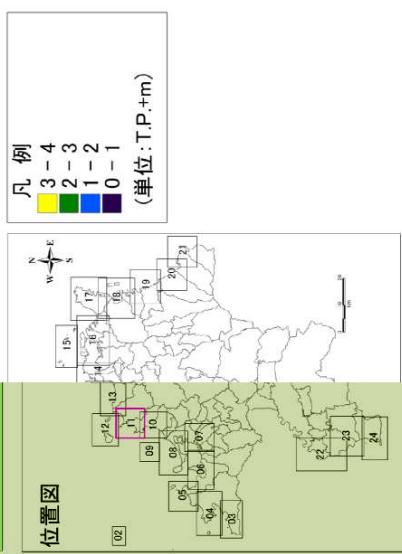
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもので(承認番号 平24情報 第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、國土地理院の長の承認を得なければなりません。



## 標高分布図(付図11)

(1.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示したもののです。潮が侵入した場合は標高分布図より実際に津波や高潮が生じる可能性があります。

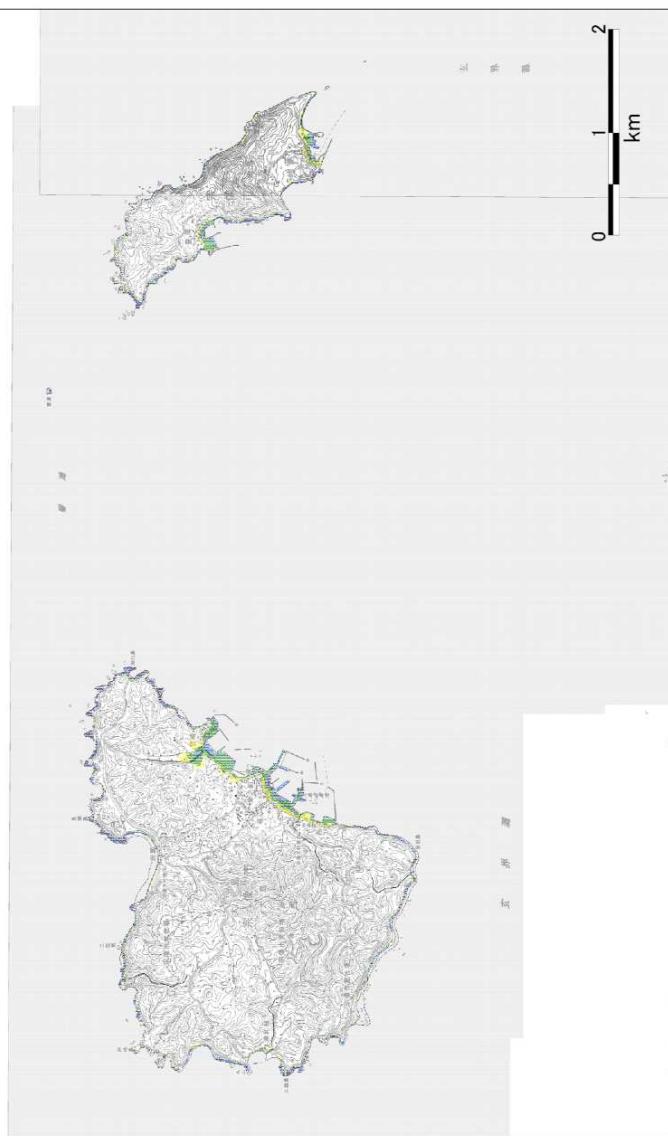
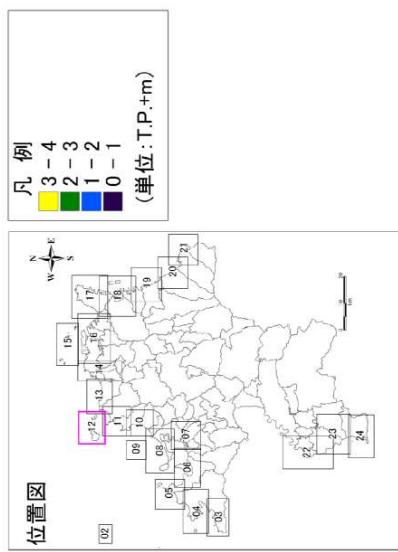


この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもののです(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

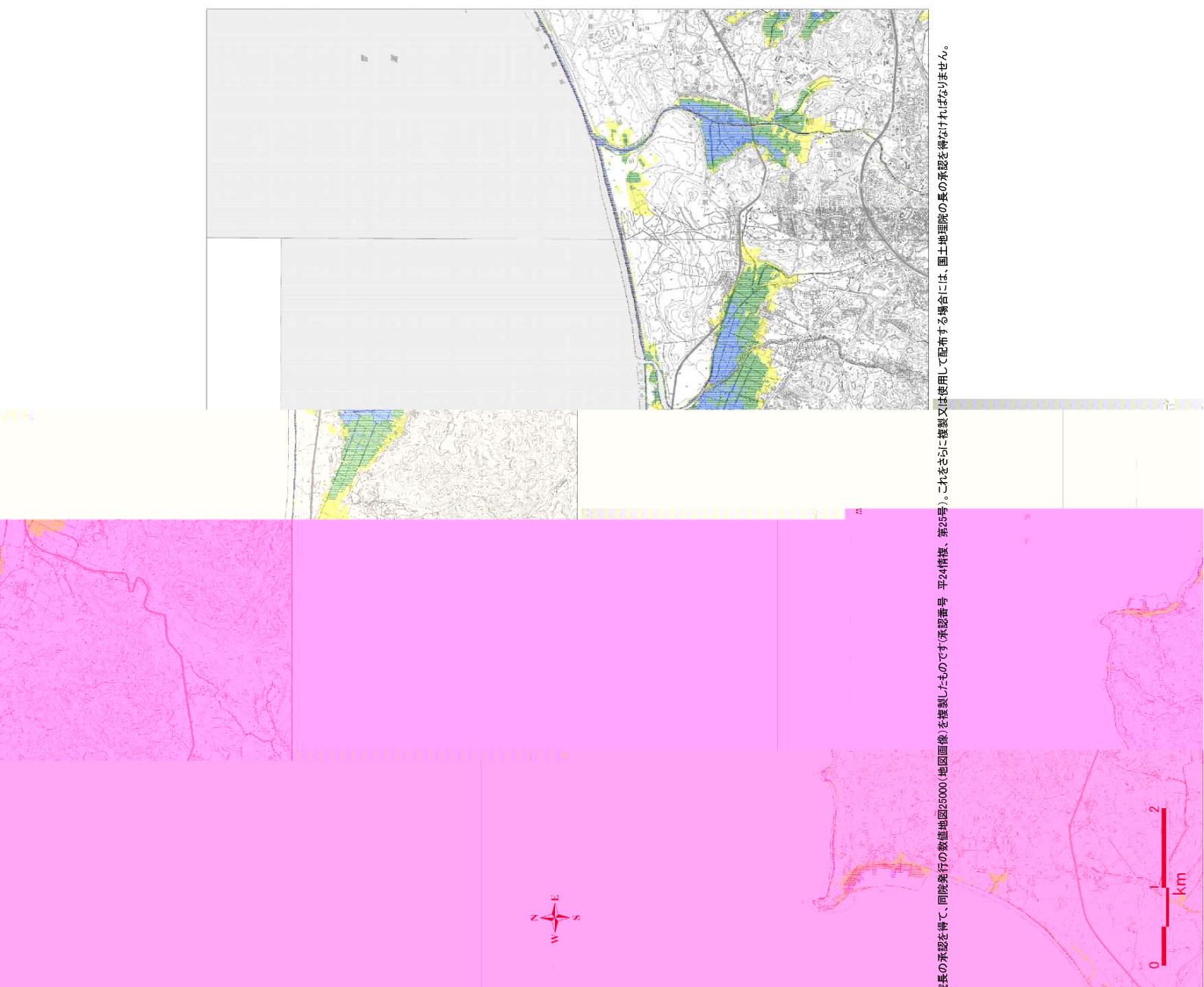
## 標高分布図(付図12)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報(数値標高モデル)を適用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示したもののです。実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より広い範囲で浸水が生じる可能性があります。

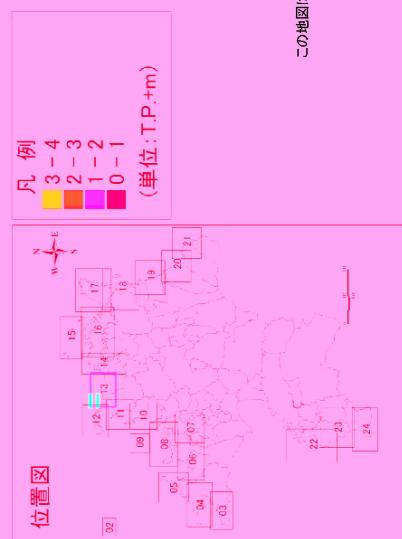


この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもののです(承認番号 平24情報、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。



## 標高分布図(付図13) (T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水入り口)がある低地を示したもののです。実際には標高分布図より広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



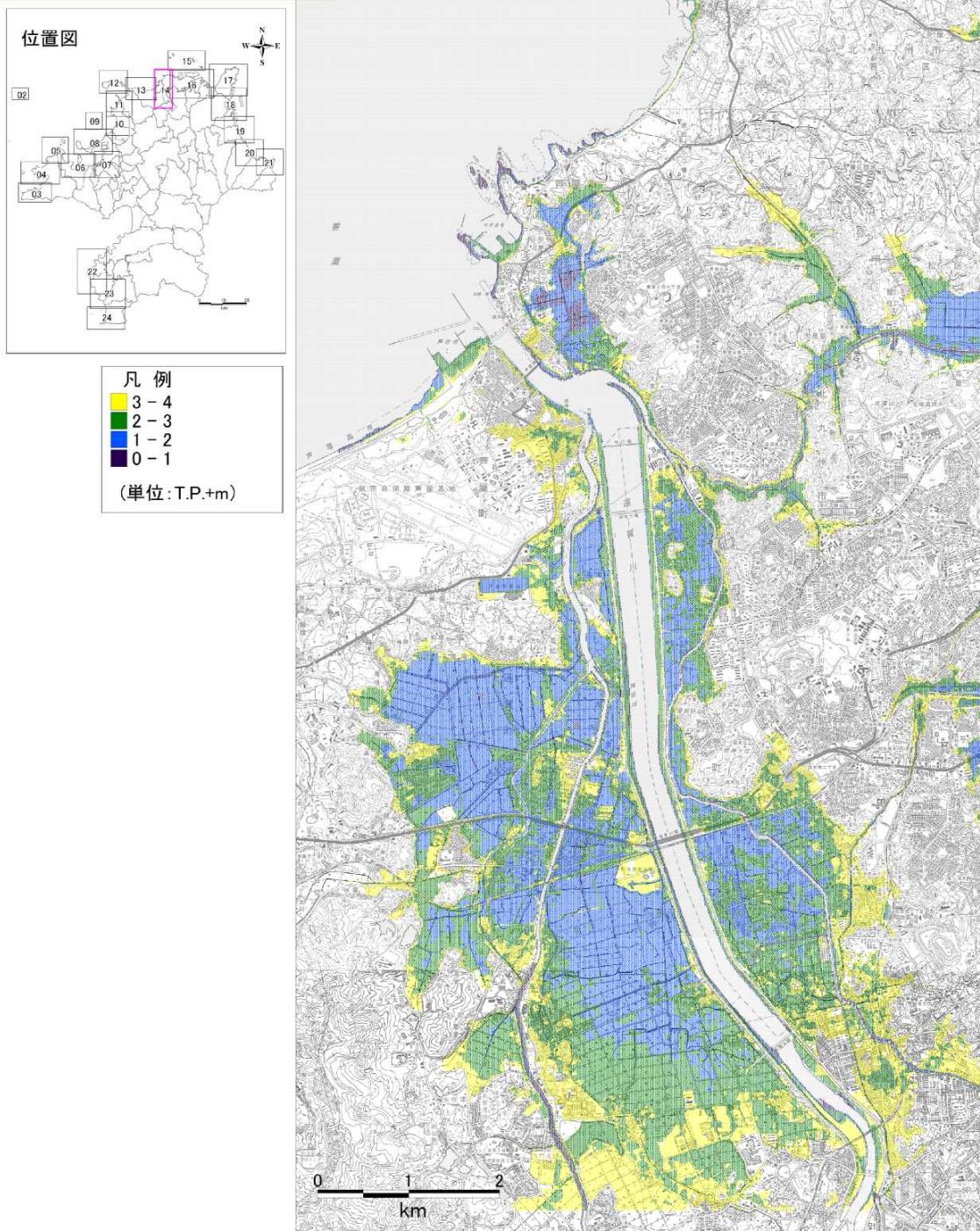
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもので(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

## 標高分布図(付図14)

(T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもので

実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものです(承認番号 平24情複、第25号)。  
これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

## 標高分布図(付図15)

(T.P.+0~+1mを表示)

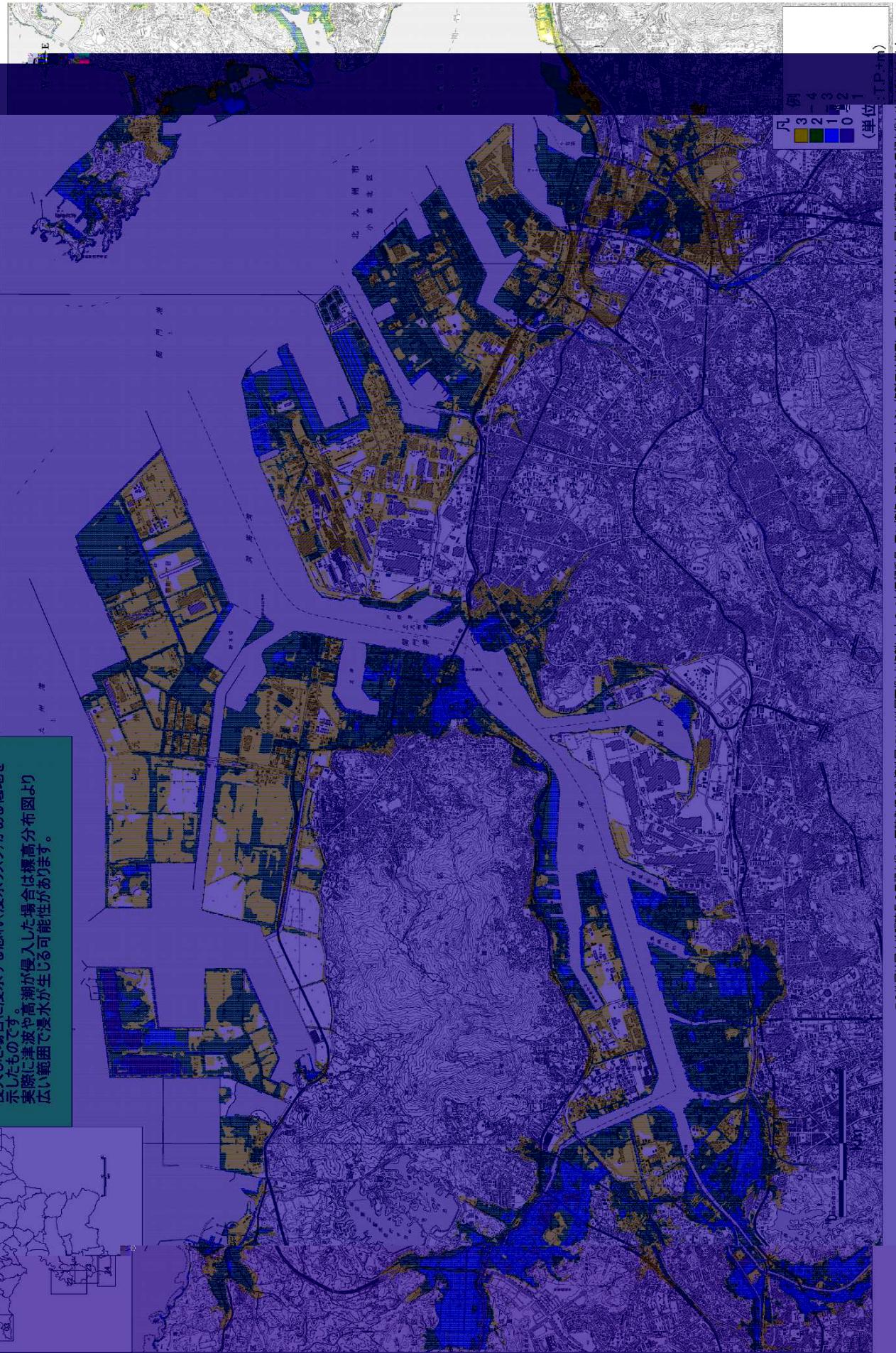
この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を用いて、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。実際には津波や高潮が侵入した場合に  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



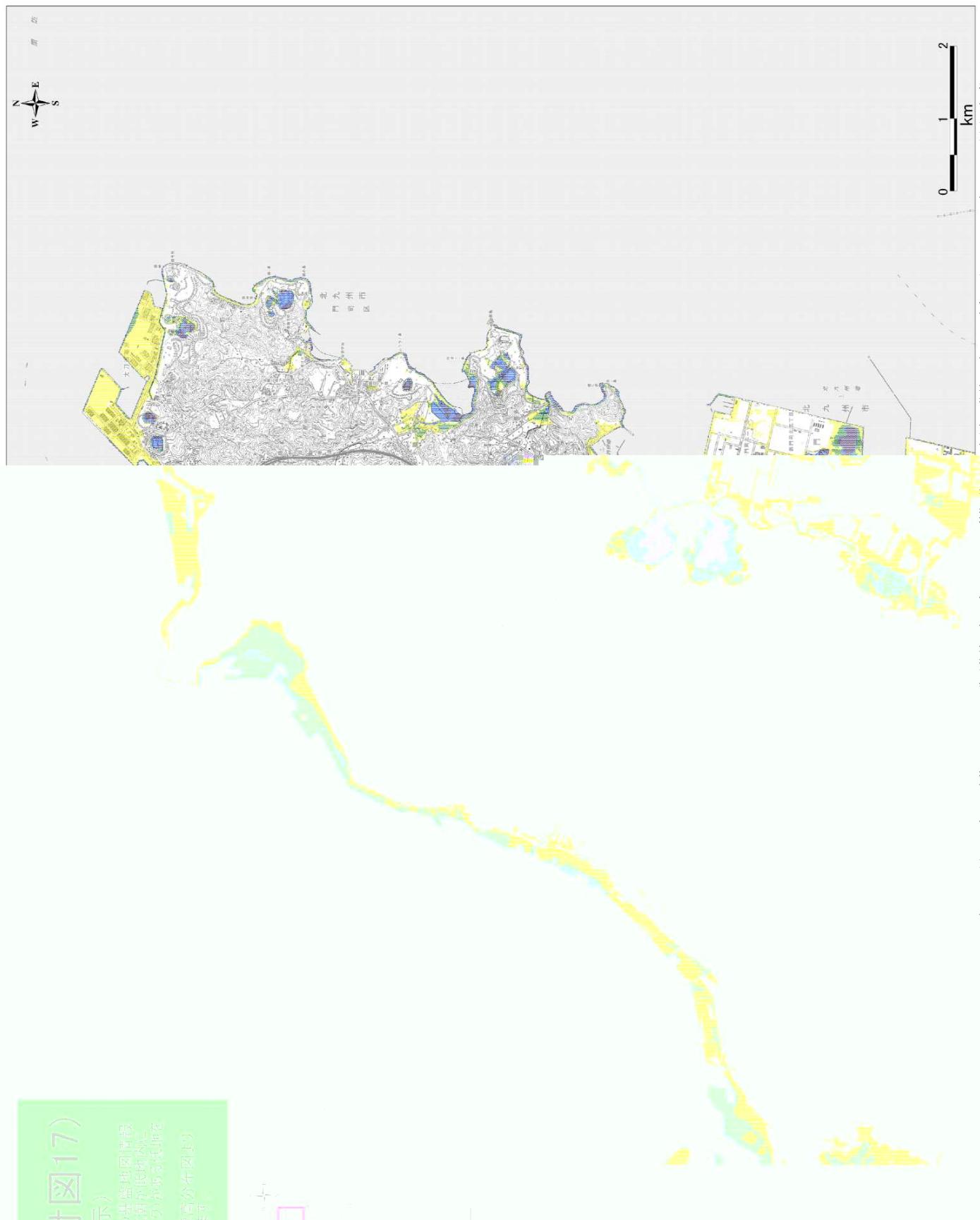
この地図は国土地理院の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもの(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の承認を得なければなりません。

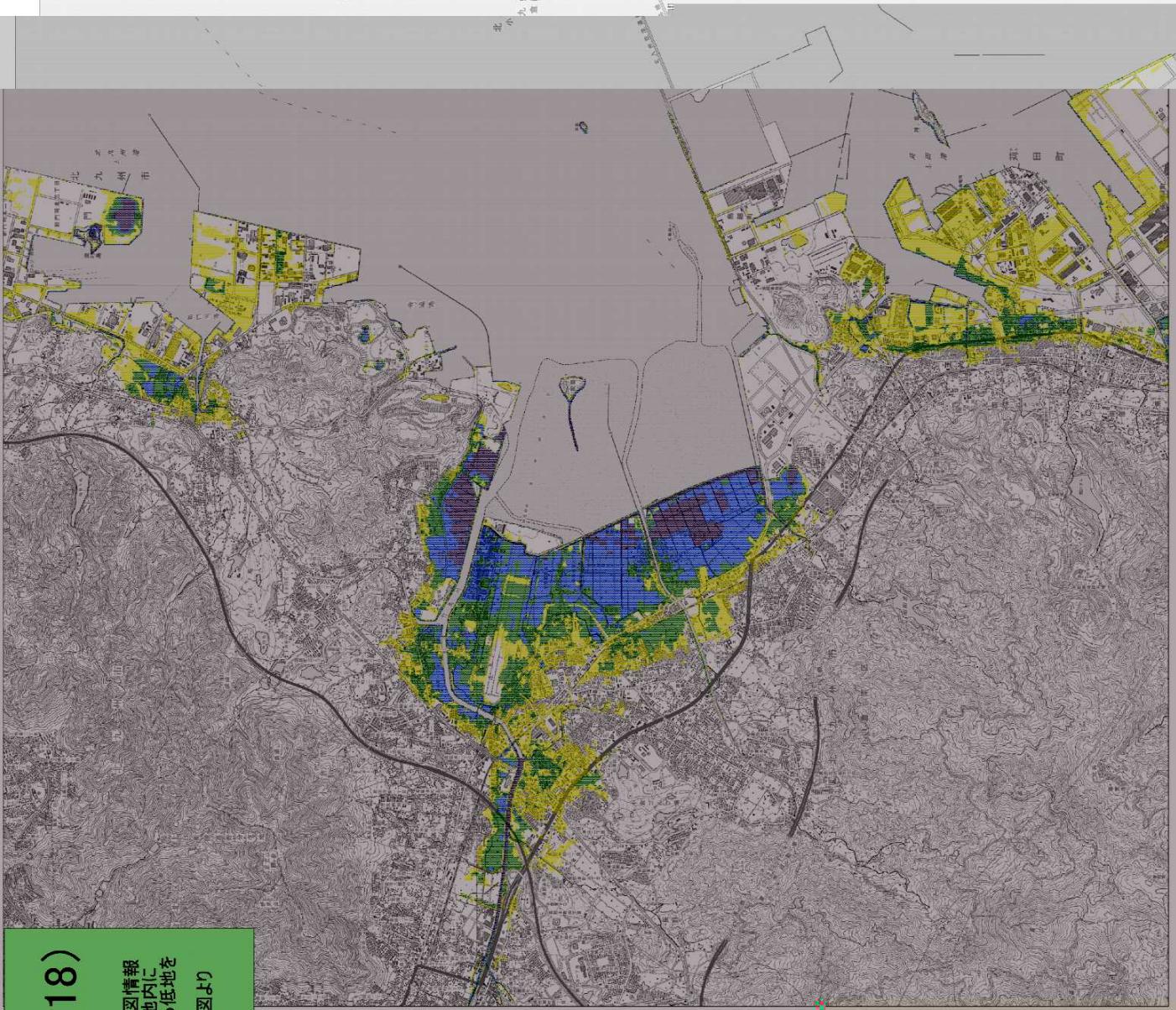
## 標高分布図(付図16) (T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基礎地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500(地図画像)を複製したもののです(承認番号 平24情機第25号)。これをさりに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

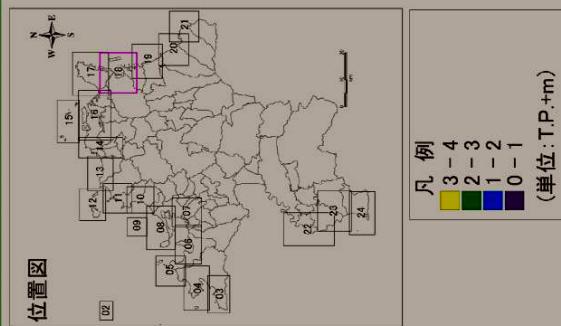


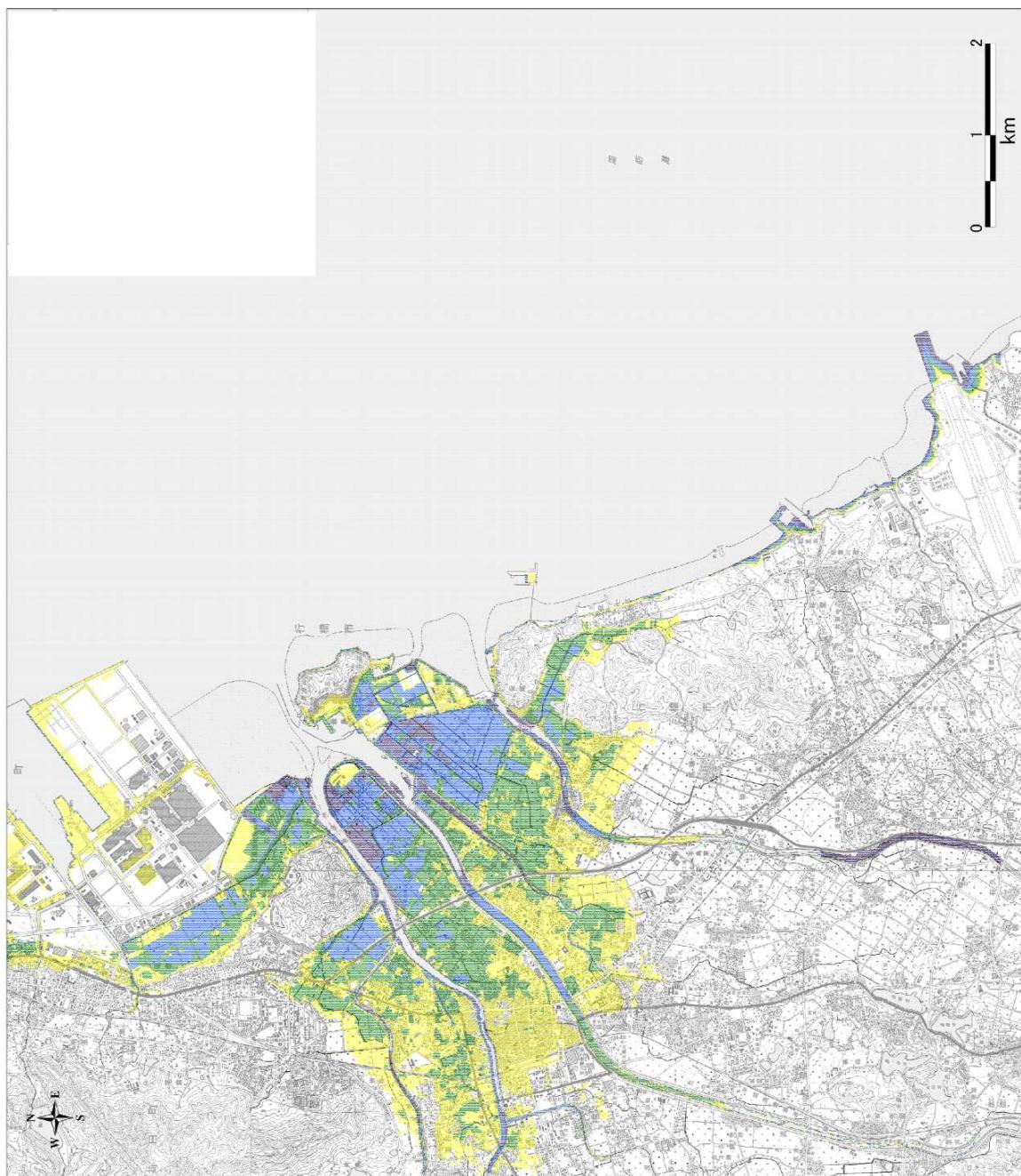


## 標高分布図(付図18)

(T.P.+0~4mを表示)

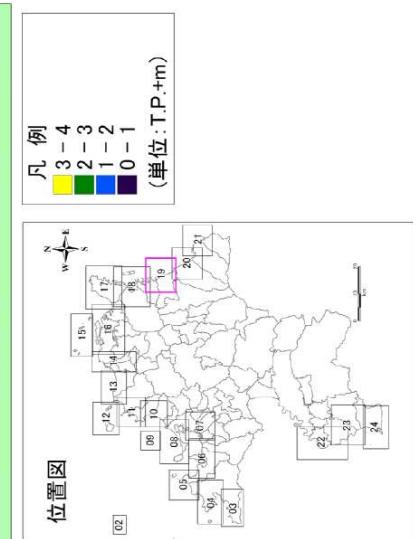
この標高分布図は、国土地理院発行の基礎地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。実際には津波や高潮が侵入した場合に  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



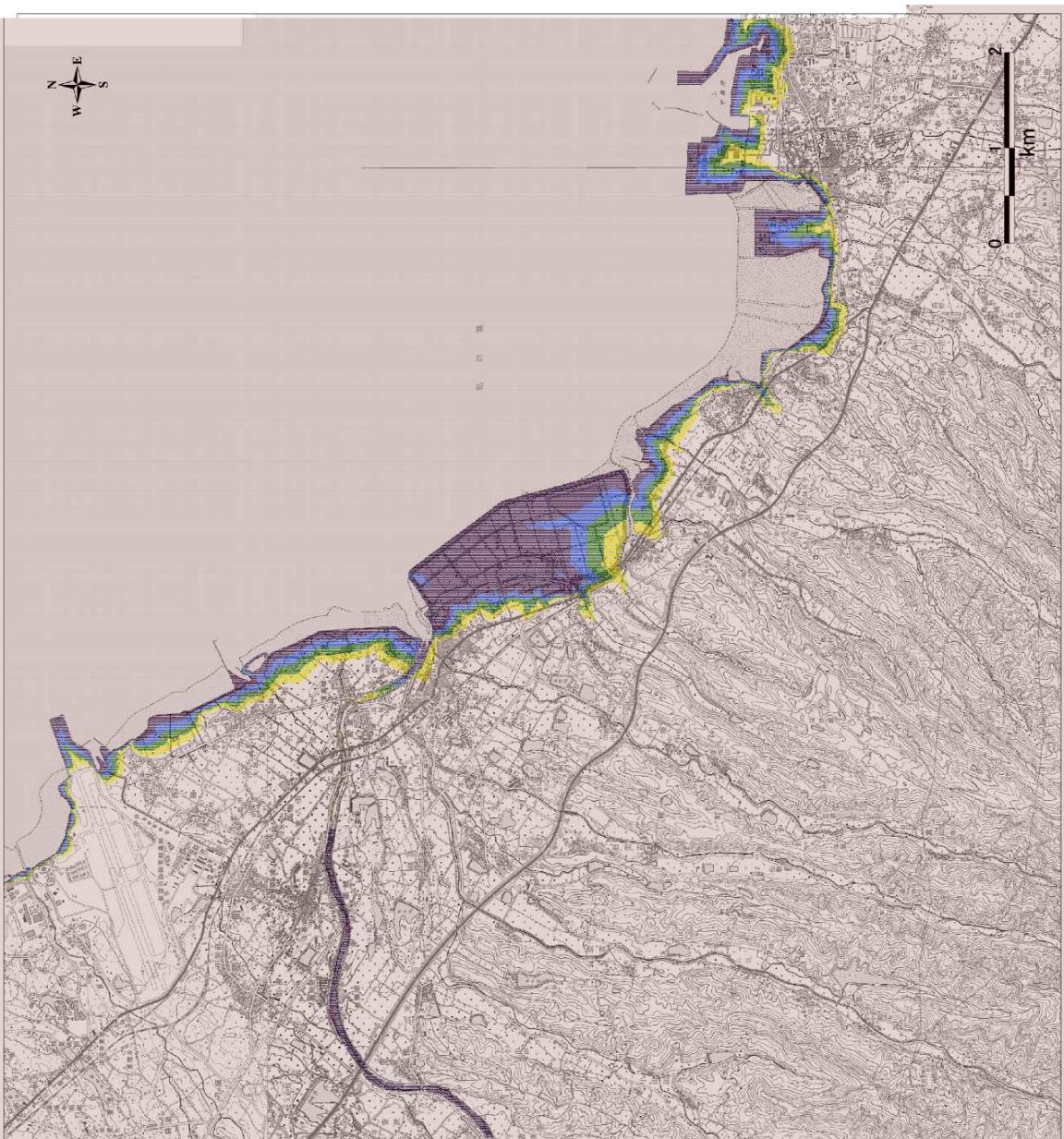


## 標高分布図(付図19) (T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したものであります。また、津波や高潮が浸入した場合に  
実際に津波や高潮が浸水が生じる可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(地図画像)を複製したものであります(承認番号 平24情模、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

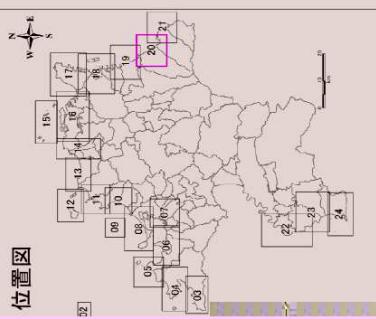


## 標高分布図(付図20)

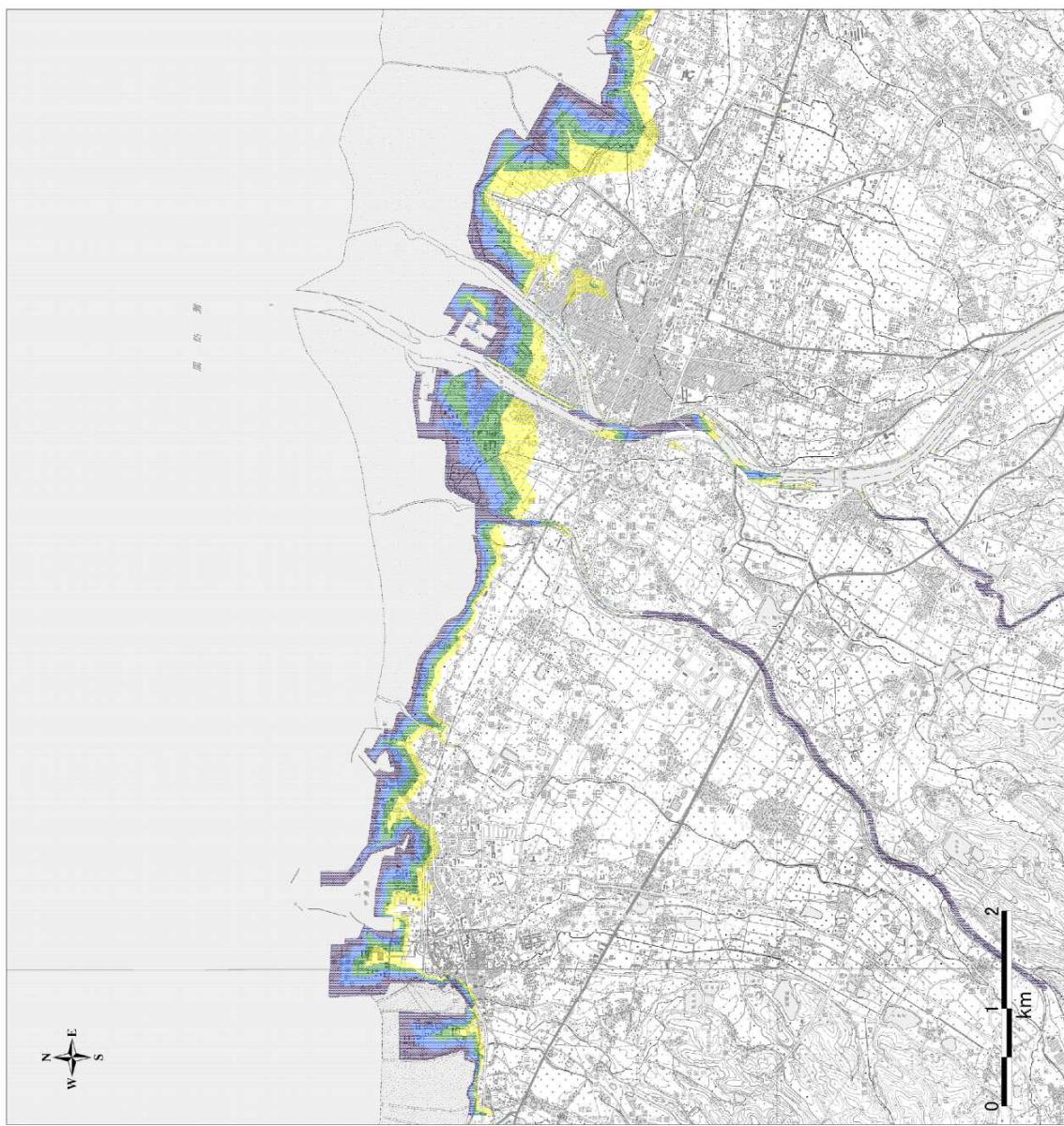
(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
（数直線標高モデル）を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ（浸水リスク）がある低地を  
示したもののです。  
実際に津波や高潮が侵入する可能性があります。

凡例			
3 - 4	2 - 3	1 - 2	0 - 1
■	■	■	■
(単位:T.P.+m)			



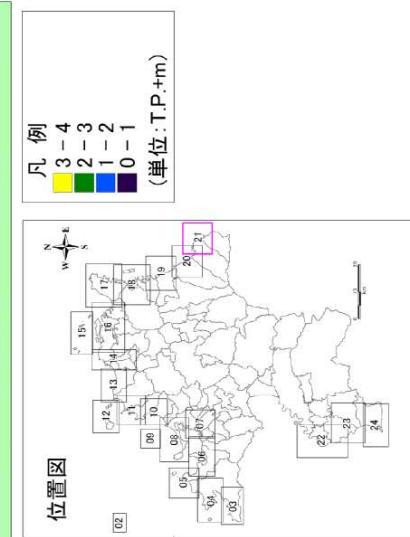
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数直線地図を複製したもので(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。



## 標高分布図(付図21)

(T.P.+0～4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基礎地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。  
実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。



この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図5000(地図画像)を複製したものであります(承認番号 平24情復 第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

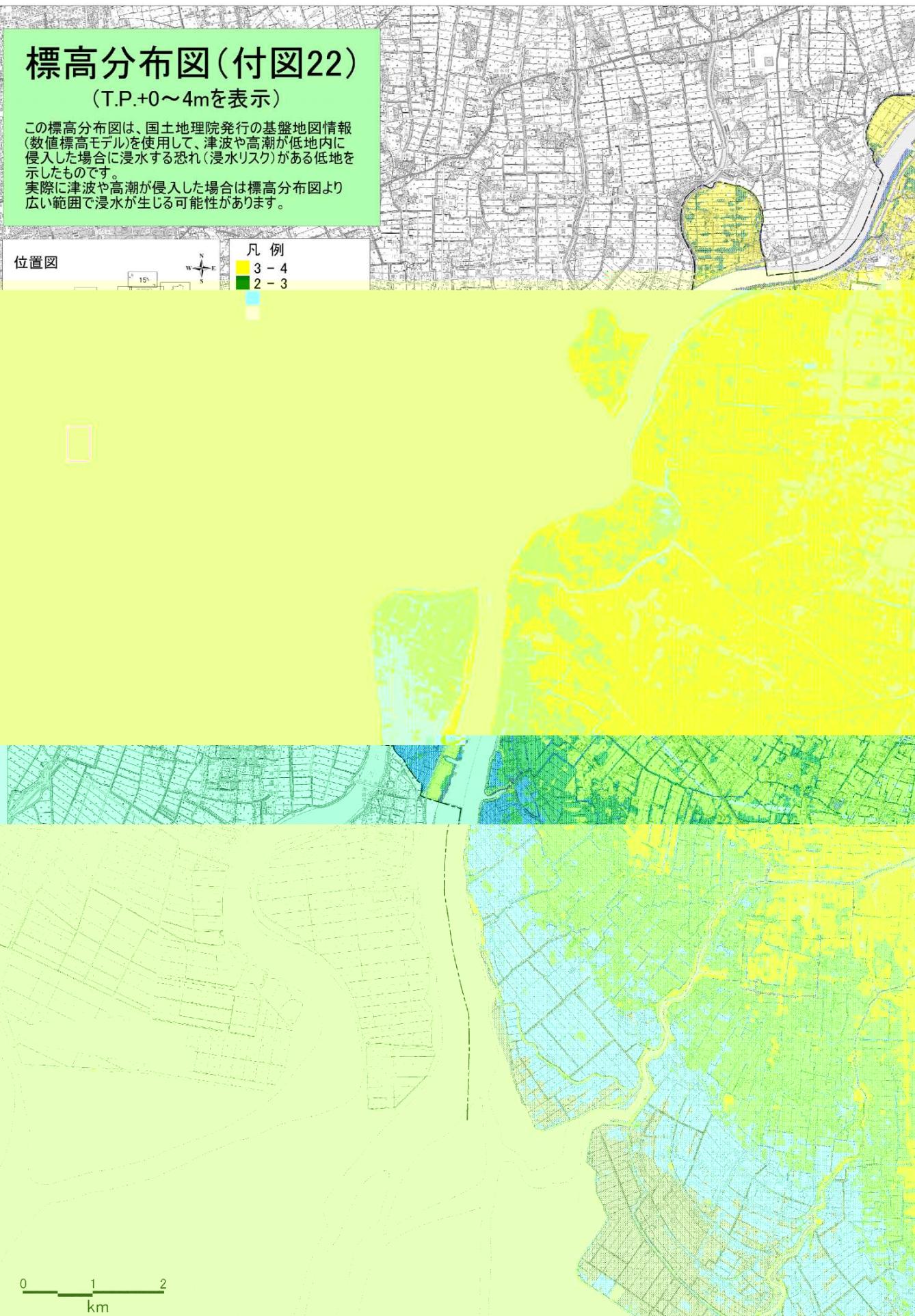
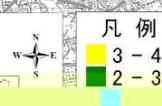
## 標高分布図(付図22)

(T.P.+0~4mを表示)

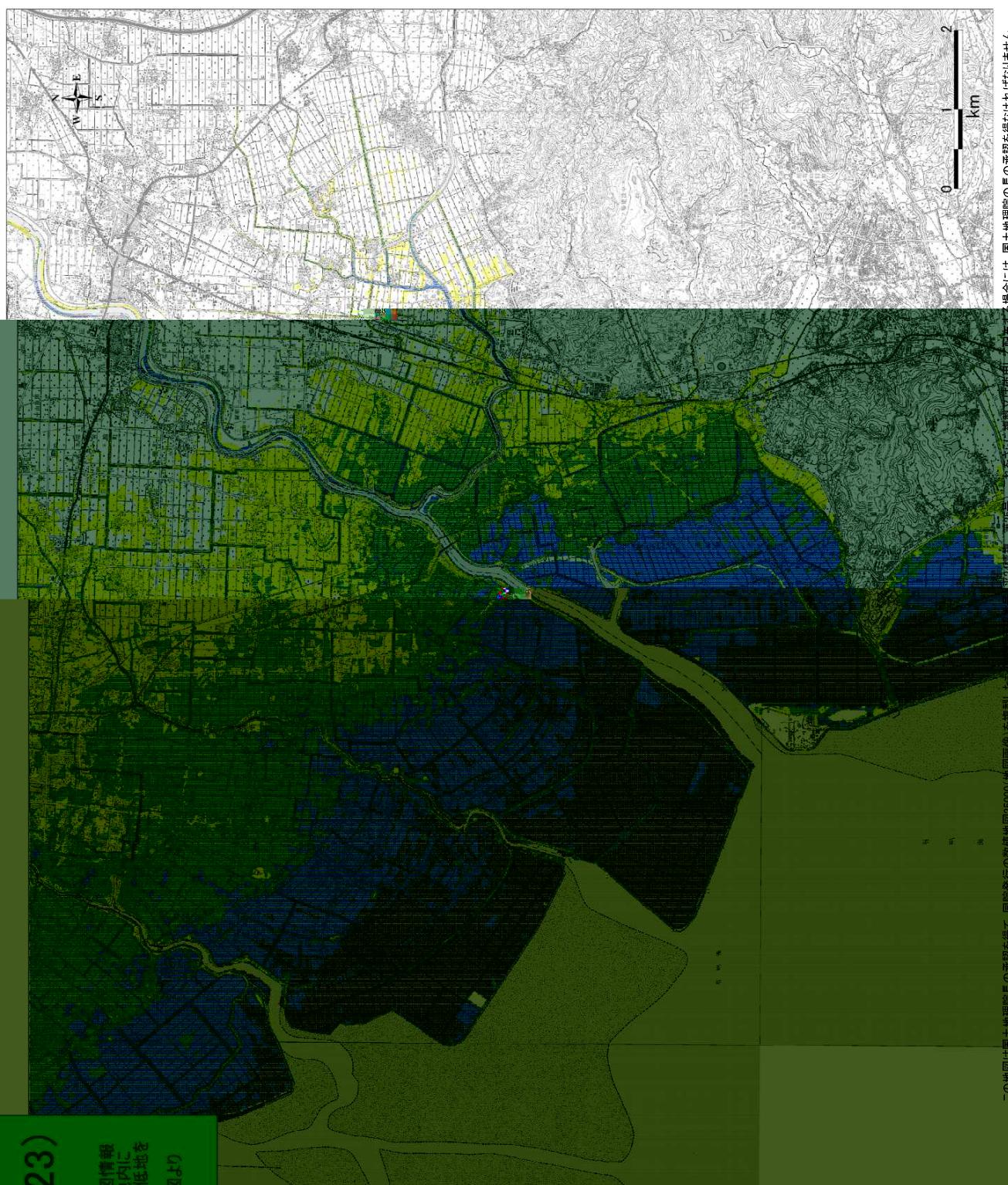
この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地内に侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を示したものです。

実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より広い範囲で浸水が生じる可能性があります。

位置図



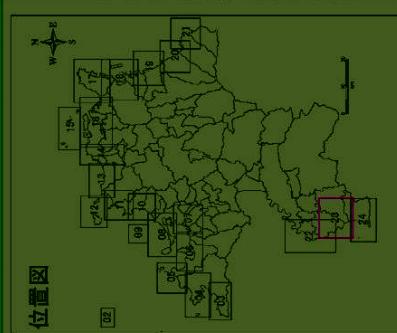
この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものです(承認番号 平24情復、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。

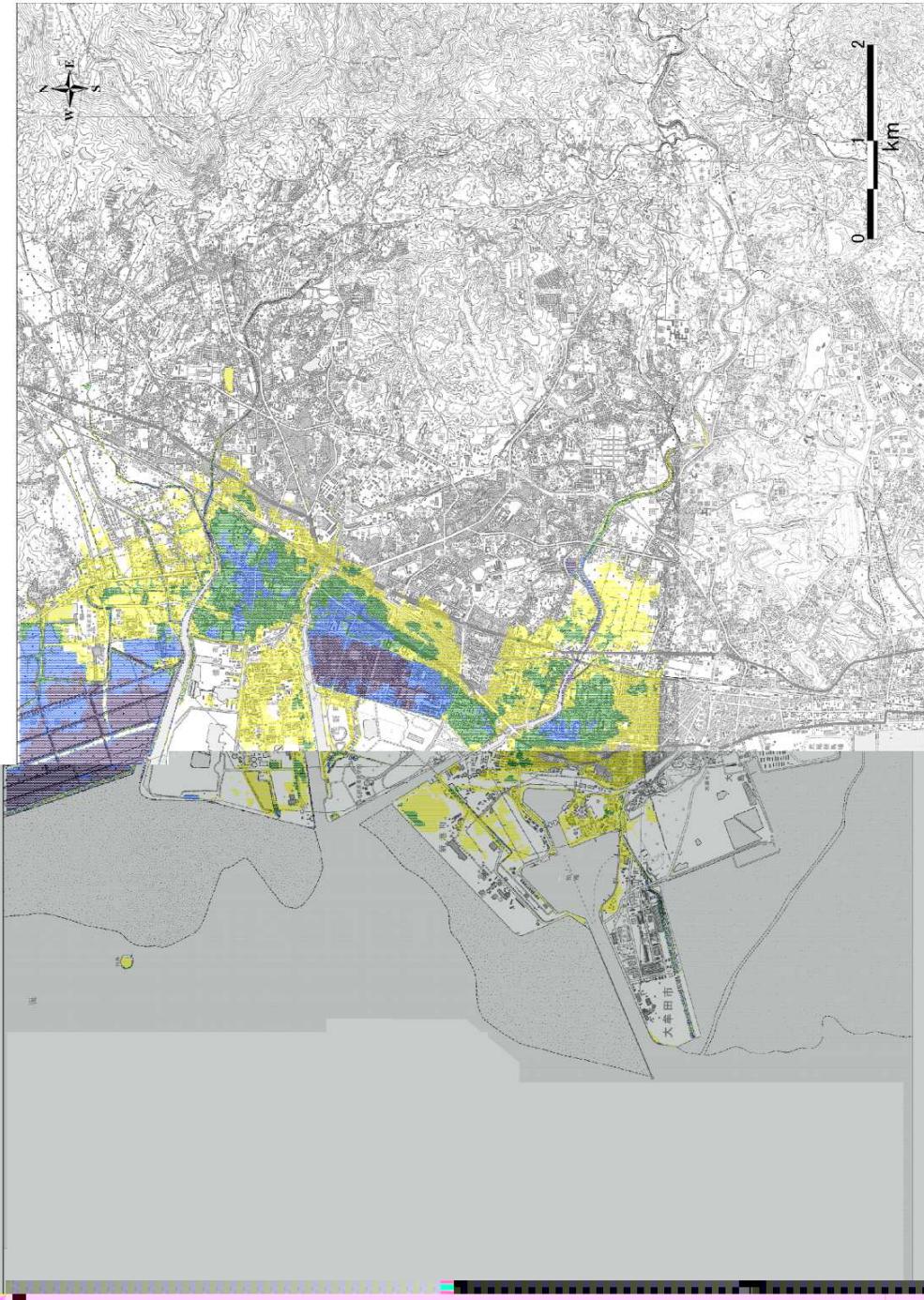


## 標高分布図(付図23)

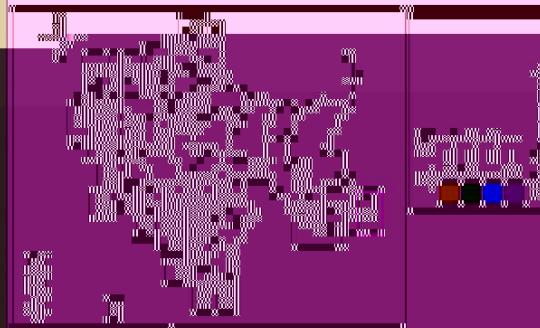
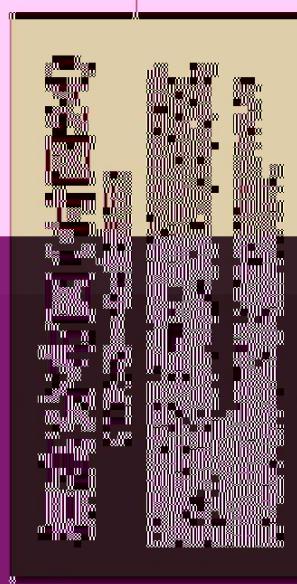
(T.P.+0~4mを表示)

この標高分布図は、国土地理院発行の基盤地図情報  
(数値標高モデル)を使用して、津波や高潮が低地を  
侵入した場合に浸水する恐れ(浸水リスク)がある低地を  
示したもののです。  
実際に津波や高潮が侵入した場合は標高分布図より  
広い範囲で浸水が生じる可能性があります。





この地図は国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したもの(承認番号 平24情報、第25号)。これをさらに複製又は使用して配布する場合には、国土地理院の長の承認を得なければなりません。



## **津波に関する防災アセスメント調査報告書**

事務局 : 福岡県総務部 消防防災課

福岡県博多区東公園7番7号

TEL:092-643-3112

FAX:092-643-3117